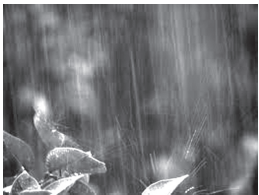


降水量のお話

ホームガス課 須田 達哉



1時間に100ミリってどれぐらい？ ここ最近、ゲリラ豪雨や台風の影響で雨が本当にたくさん降ります。毎日、天気予報をしっかりとチェックしないと悲惨な目に会うこともしばしば……。

しかし、天気予報を見ていると、気象予報士やアナウンサーさんが「100ミリの雨が予想されます」のように「●●ミリ」という数値で雨量を表現しています。

伝えている人の顔や口調からたくさん降るのだろうな、というのは伝わってはくるのですが、いまいち、どれくらいの雨量かがピンときません。

例えば「1時間で100ミリの降水量」とは、降った雨がそのまま流れずに溜まった場合、1時間で雨が水深10cmたまるということです。

この計算だと、1平方メートルに100ミリの雨が降った場合、水の量は100リットル（100kg）になります。（1平方メートルは、一般的な畳約0.5畳です）。

この計算をふまえて考えてみると、天気予報で「100ミリの雨が降る」と言われれば、道が冠水するおそれや川が増水するかもしれない……というのは容易に想像できるようになります。

天気予報では雨量によって雨が降る表現を変えているそうです。今まであまり気に留めたことがありませんでしたが、これから注意して聞いてみたいと思います。

では、どのように表現を変えているのかを簡単に紹介します。

雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受ける イメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を 想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや 強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る			高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)	
50以上～ 80未満	非常に 激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				

- (注1)大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。
- (注2)数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

気象庁 | 予報用語 雨の強さと降り方 (jma.go.jp)

アポロ新聞

私のゴールデンウィークGWの過ごし方

外販課 吉澤 宏和

ゴールデンウィークだけではなく、お盆などの夏季休暇や年末年始など、一般的に日本の大型連休というものはどこに行っても人だらけです。どこからそれだけ大勢の人が集まるのか、目を疑う光景を今までに何度も見てきました……そう言う自分もその集団の一員です。

例えば私が訪れたことのある観光地では、珍しい物品を見るなり価格を重視せずに購入してしまう人々。主に観光客などは、『せっかく来たんやから、買っていこか』と店員さんが営業しなくても物がポンポン売れていく状態です。さらにある販売店ではその観光地に関係のないものや普段の販売価格の数割増ししてるんちゃうか？という物品でも次々に売れていく状態。もはやなんでも売れるテーマパーク状態です。日本の経済が潤沢に廻っているようにさえ感じてきます。私もこの畏にはまった人間の気がします。帰宅後、我に戻った瞬間、「なぜこれをあの価格で買ったのだろうか……？」あの時のハイテンションを後悔するのです。昔からUFOキャッチャーで、それほど欲しくもないのにGETできそうというだけでコインが吸い込まれていった経験値の高さはずば抜けているでしょう。そしてGETしては後悔の繰り返し。この学習能力の無さが自分でもかわいく思えてきます。

さて、話は戻りゴールデンウィークの過ごし方。私は今年こそお金を使わず過ごすことを計画しています。まず遠くへ行かない。遠くへ行くと自分のテンションを抑える自信がないのです。だから車を使用しても短時間でいけるところ。燃料節約です。

では、何を？ 今年は地元探索を楽しもうと思います。時間と交通費の効率の良い節約に繋がります。『灯台下暗し』とはよく言ったものです。伊賀上野城周辺や室生寺、赤目四十八滝を計画しています。

混むであろうことは承知の上、テンション上げず、無駄遣いを抑えられるか、自分を試す修行だと思い、ゴールデンウィークを堪能しようと思います。

赤目四十八滝は体力的にどこまで上を目指せることやら……忍者屋敷などいつぶりだろう……幼き記憶も遠ざかるうえ、施設側もずいぶん変化していることに期待を込めて、私を心の底からリフレッシュさせてくれるに違いないはず。地元の知られざる謎解き気分で挑んでいこうと思います。

皆様も十分にお気を付けいただき、悪い畏にはまらぬようゴールデンウィークを楽しんで下さい。